報道関係者各位

2026年11月12日
リファインホールディング株式会社

世界自然遺産・屋久島の未利用資源から生まれた「縄文牛®」を教材に、東武トップツアーズと協働で中高生向け原体験スタディツアーを共創

～教室を飛び出し、屋久島の循環環境を舞台に「自ら問い、創り出す力」を育む。
「縄文牛®」のアップサイクル現場から『地方へ力を』体感する探究型スタディツアー～



【左上より時計回り／縄文牛®、縄文杉、屋久島高校との共同開発商品販売会、
屋久島マラニックでの縄文牛をつかった炊き出し提供、縄文牛牛舎】

リファインホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川瀬泰人）は、屋久島の未利用資源を活用した循環型地域ブランド牛「縄文牛®」を展開しています。

このたび、東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）および HUB&LABO Yakushima（鹿児島県熊毛郡屋久島町、代表理事：福元豪士）と協働を開始いたしました。東武トップツアーズが全国の中高生向けに提供を開始した探究学習ツアー「地球と遊ぶ The Circular Microcosm（ザ・サーキュラー・マイクロコズム）」（3泊4日）において、当社は「縄文牛®」により地域資源循環の現場教育コンテンツを提供いたします。

本プログラムは、当社が地元・鹿児島県立屋久島高校と共創してきた地域課題解決・商品開発の実践をベースに、「机上の学びにとどまらない、本物の地域循環経済の現場を全国の次世代へ届けたい」という当社の呼びかけから実現した教育ツアーです。

■ 発表の背景：高校「探究学習」の本格化と、問われる「社会実装の質」
現在、全国の高等学校において「総合的な探究の時間」が定着し、総合型選抜（旧 AO 入試）や学校推薦型選抜等において「地域や実社会の課題にどう向き合い、自ら行動したか」を問う大学入試改革が加速しています。教育現場では、教科書内の知識や表面的な見学ツアーにとどまらず、「リアルな課題とビジネスが直面する壁を肌で感じる生きた教育機会」が強く求められています。

一方、日本の一次産業や離島・過疎地では、資材高騰や人口減少、食料安全保障への懸念など深刻な課題が山積しています。当社は、真の地域自立と「地方へ力を」もたらす持続可能な循環モデルを確立するためには、大人の取り組みにとどまらず、「次世代が地域資源に新しい価値を見出すアントレプレナーシップ（起業家精神）」を育むことが不可欠であると考えています。

■ 本取り組みの原点：屋久島高校との共創から生まれた確信
当社はこれまで、屋久島島内で廃棄されていた芋焼酎の搾りかすや地域特産の柑橘類の搾りかすを発酵飼料化し、経産牛を上質な赤身肉へアップサイクルする「縄文牛 ®」を展開してまいりました。その過程で、地元・屋久島高校の生徒たちと出前授業を重ね、未利用部位を活用した縄文牛 ® をつかったチップス「かうっぷす」やお弁当の共同開発・即日完売など、生徒自らがビジネスの現場を動かす挑戦を共に行ってまいりました。

この現場での確信――「教室を飛び出し、限られた資源の中で工夫して価値をゼロから生み出す経験こそ、子どもたちの『生きる力』になる」――を島内にとどめず、全国の中高生へ届けたいと考え、大手旅行会社である東武トップツアーズへ連携を働きかけました。こうして、旅行・教育・地域事業者が一体となった本格スタディツアーが結実しました。

■ 本プログラムにおける「縄文牛 ®」を活用した教育コンテンツ
本ツアーは、屋久島の「日本列島の自然の縮図」という特異な環境を舞台に、非認知能力と起業家精神を育む設計がなされています。

牛舎での現場対話と「循環型ビジネス」の体感

生徒たちは実際に肥育現場である牛舎を訪問。事業に携わる当社の現場スタッフが直接迎え、特製パネルを用いて「未利用資源がどのように飼料となり、牛を育て、食へと循環していくのか」のプロセスを解説します。焼酎粕などの廃棄物を高付加価値なブランド牛「縄文牛 ®」へと生まれ変わらせるリアルな現場から、課題を価値へと転換する起業家精神を肌で学びます。

離島が抱える「輸送コストの壁」と自立の知恵を学ぶ

食肉処理施設がない離島特有の輸送ハンディキャップを、島内飼料化によるコスト削減と肉質向上で乗り越える経済モデルを提示。「地方で生きるリアリティと自立の道筋」を問いかけます。

「命を頂く意味」を振り返るワークショップ

最終日の夕食では実際に縄文牛 ® を食し、牛舎で対話した命の連鎖、自然の恵み、人の知恵を深く振り返ります。総合型選抜入試等の志望理由書や面接の核となる、強い原体験（人生のきっかけとなる深い実体験）を形成します。

■ 本事業における当社の狙い：教育を通じた「地方へ力を」の実践
当社は、主力である溶剤リサイクルの事業基盤を活かし、100%バイオマス素材「RegeNature®」や食のアップサイクル「縄文牛 ®」を通じて、地下資源や外部調達に過度に頼らない地産地消・自立型の地域づくりを推進しています。

地域の未利用資源に光を当て、過疎や物流危機という構造的な難局を乗り越えて「地方へ力を」取り戻すためには、未来を担う子どもたちの柔軟な発想と起業家精神が欠かせません。屋久島高校との共創で得た手応えを全国の中高生へと広げ、地域から日本を変えていく次世代の育成と、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。



■ プログラム概要
プログラム名称：「地球と遊ぶ The Circular Microcosm（ザ・サーキュラー・マイクロコズム）」

対象：中学校・高等学校（探究学習、修学旅行、校外学習、有志研修等）
行程：3泊4日（屋久島島内）
主催・旅行企画・実施：東武トップツアーズ株式会社
協働パートナー：リファインホールディングス株式会社（※「縄文牛 ®」により地域資源循環の現場教育コンテンツを提供）、HUB&LABO Yakushima
詳細リリース（東武トップツアーズ）：
https://www.tobutoptours.co.jp/newsrelease/TT26059.pdf
申込はこちらから：
https://docs.google.com/forms/d/1sTtWX_-fGuetF6J5NNqHO38di7rL7qD_59TOXLgCPuw/edit

【会社概要】
社名：リファインホールディングス株式会社
代表：代表取締役社長 川瀬泰人
本社所在地：東京都千代田区丸の内2丁目2番地1号 岸本ビル11階
設立年：1966年
従業員数：744名（連結）
事業内容：有機溶剤に関わる化学事業、資源循環事業、天然資源飼料開発事業など
リファインホールディングス株式会社 URL：http://www.refine-hd.jp/
縄文牛 ®URL：https://www.yakushimarefine.jp/

＜本件へのお問い合わせ＞
リファインホールディングス株式会社
経営企画本部
TEL：03－3201－3357
E—mail：info@refine-hd.jp